

和地ひとみレポート No.281

東大和市議会平成30年第2回定例会 一般質問 “公共施設の市民の利用状況について”
時代にあった運営方法を再度検討する時期では…



■第2回市議会定例会 一般質問

…平成30年第2回市議会定例会で、私は以下のテーマについて一般質問で取り上げました。

■防災について ※このテーマについてはNo.280に掲載

- ① 市が計画している発災時における様々な団体、組織との連携について。
⇒連携を想定している団体、組織にはどのようなところがあるか。
⇒連携を想定している団体、組織との連携内容について
→連携内容を連携先とどのように共有しているのか。
→連携するために、どのような準備をしているのか。
- ② 団体、組織との連携における課題と今後の対応について。

■公共施設の市民の利用状況について

- ① 平成27年10月よりスタートした公民館、市民センターの公共施設予約システムについて。
⇒導入後の市民の利用状況について。
⇒利用者からの評判や意見について把握していることはあるか。
- ② 市では受益者負担という考えのもと、利用料などの様々な改定を進めているが、公共施設の利用料金についてはどのように考えているのか。
- ③ 市民の利用する公共施設における課題と今後の対応について。

…公民館や市民センターなど、東大和市には市民が利用できる公共施設があり、私も一市民として利用をさせていただいています。東大和市では、平成27年10月に公共施設予約システムを導入。以前のように、毎月月初めに、その月に利用したい団体が集まって開催する“調整会議”もなくなり、インターネット上で予約できるようになりました。空き状況なども画面上で確認できるようになるなど、一見、利便性が高まったようにも感じますが、実際に利用してみると「システム導入の効果が活かされているのか？」と感ずることがあります。また、その他の公共施設の利用方法やサービス面についても、利用者ニーズや時代に合った運営がされているのか気になる点もあったため、今回は公民館、市民センターなどといった公共施設の利用状況の現状と課題を確認しました。

■現状に対する認識は？

…初めに、市長と公民館を所管している教育長から、現状と今後の課題に対する認識が答弁されました。市長からは「公共施設における課題と今後の対応についてだが、老朽化した施設の増加、少子高齢化の進展に

よる利用ニーズの量と質の変化、更新等に必要な財源の確保等が課題であると考えている。また、今後の対応としては、配置の適正化を踏まえた施設の更新、人口や財政の動向を踏まえ、時代の変化に応じたサービス水準の見直し、中長期的な視点に基づく効率的な維持管理の推進によるライフサイクルコストの低減及び平準化を図ることなどであるとだと考えている。」との答弁が。また、教育長からの公民館における公共施設予約システム導入後の市民の皆様の利用状況についての答弁では「公民館では平成29年度に716団体が予約システムの利用者登録を行い、そのうち、約3分の2の444団体が定期利用グループとなっている。利用者からの評判や意見についてだが、従来、行っていた調整会議がなくなり、楽になったことや、夜でも予約ができて便利になったとのご意見をいただく一方、複数グループが競合し、当選率が下がる場合には、希望の学習室が取れず、他の施設へ移動したり、日程変更をしたりしている等のご意見をいただいている。」との答弁がありました。

■予約システムは便利？

…予約システムで施設を予約するためには、利用者団体として書類を提出しIDとパスワードを入手しなければなりません。この登録については“公民館利用者登録”と“市民センター利用者登録”の2つが必要で、それぞれのIDとパスワードが発行されます。インターネット上の施設予約システムで施設を予約する場合は、IDとパスワードでログインをするのですが、例えば公民館のIDとパスワードでログインをしたとしても、公民館と市民センター両方の空き情報や施設検索ができるようになっていきます。そして、もし、希望の日時に利用できる施設が市民センターだった場合、施設予約をしようとする段階では予約ができない旨のメッセージが表示されます。それは、公民館のIDとパスワードでログインをしたからです。そして、市民センターを予約したい場合は公民館の利用者としてログアウトをし、新たに市民センターのIDとパスワードでログインをし直し、施設検索からやり直さなければならないというのが現状です。

…公民館のIDとパスワードでログインした時に市民センターの施設の空き状況まで表示できるのなら、なぜ、公民館と市民センター2つに別の書式をそれぞれに提出し（記入内容はほぼ同じ）IDとパスワードを2つ取得しなければならないのか。この点は利用する側としては不便かつ、理解ができないところです。推測をするには市民センターが市民部の所管で公民館が社会教育部の所管だという役所側の縦割りのためではないかと思います。（裏面に続く）

…なぜ、公民館利用者 ID と市民センター利用者 ID を分けているのかという質問に対する答弁は「公民館と市民センターを分けているのは混乱を避けるためだ。また、高齢者のグループなどからはシステムを導入する際、ID を統一することで、競合し落選率が高くなり、近い施設を利用できなくなる恐れがあるとの強い要望があり、ID を統一せずに、まず導入することを優先して進めたという経緯がある。導入から2年経っていることから、ID の統一に向けて利用者にご意見を伺いながら、今後、メリット・デメリットについて整理をしてみたい。」との答弁でした。また、ID を分けているのに、両方の情報が出てくる理由については、片方しか登録していない方々にも施設の空き状況を見て、もう片方も登録してくれる場合があるためとのこと。この市側の答弁からは「利用できる施設」という考え方については公民館も市民センターも同じ考え方に立っているとしか言えず、利便性より、役所の縦割りのことを優先しているように感じました。

…さらに、東大和市のシステムでは予約をした段階では「仮予約」の状態、本予約のために予約した施設に行く必要があります。しかし、市民センターではその手続きのできる職員が17時までしかいないため、それ以後は本予約はできません。一方、施設の貸し出し時間の夜間は18時から22時。夜間の枠を利用する人でも、利用日の前に17時までに本予約に行かなければなりません。この不便さについては、市民センターを所管する市民センターについては「改善策を検討する」との答弁でしたが、公民館については「当日の入室前に本予約の手続きをしてくれればよい」との答弁。多くの市民の人は、利用日の前日までに行かなければならないと思っているので、きちんとアナウンスしてほしいと要望しました。

■公平性と受益者負担の考え方

…多くの市民の方が、公民館は無料で利用できるという認識ですが、公民館条例では利用料が設定されており、市民の方が無料で利用できるのは“減免措置”がされているからです。今回の質問にあたり、多摩26市の公共施設の利用方法について確認しましたが多くの市が利用料をHPに掲載し、減免される団体の条件が明記されています。(例えば市民の方が〇名以上の団体、教育長が認めた団体など)

…また、予約方法について、前述の様々な答弁では、定期的に利用している団体(毎週〇曜日の午後など)も、スポット的に使用する団体も、同じ条件でシステム予約するため=早い者勝ちのため、多くの人が予約可能日となってすぐの深夜に予約をするようです。そのため、高齢者の多い団体が希望の施設を利用できない可能性もでてきます。

…公民館側としても、以前は調整会議で月に1度顔を合わせていた各団体のつながりがなくなっていることなどで、公民館まつりなどの協力者を集めるのが大変になっているとのこと。私は、コンスタントに公民館で活動をし、公民館活動を支えてくれている団体とスポット的に利用する(年に1度など)団体の予約方法を変える方がよいと思います。

…例えば、隣の小平市では、利用団体をA、Bと一般と分け、Aの団体は公民館の運営に参加(新聞作り、市主催の文化祭で発表する、市の旅行に参加、茶器を当番で洗浄等)、Bは(茶器洗浄)とし、一般の団体に先駆けて半年ごとに利用日を予約できるようにしています。“受益者負担”という金銭的なことをイメージしますが、このように優先的に予約できることにに対し、公民館運営に参加することを提供するという考え方もあって良いと思います。この点についての市の見解は「現在公民館では、どの団体も同等な取り扱いをしている。しかし、公民館利用者の間でも、利用者連絡会への強制加入やまつり実行委員会の輪番制などについて話題に上ることもある。今後、小平市の例などを参考に調査研究したい。」との答弁でした。

…また、公民館、市民センターのピアノの利用については、東大和市は無料。しかし、市の予算では毎年、これらピアノの調律費用が計上されています。公民館では他の楽器や大きな道具を持参して活動している方も多く、ピアノだけが無料かつ毎年市が費用を出して調律していることは公平性を欠いていると感じます。他市には、ピアノの利用料を数百円ほど徴収しているところも多くあります。ピアノを良い状態に維持するための調律にこの利用料を充てることは当たり前のことではないでしょうか。このような点も、今後、他市の状況を調査し、検討するべきだと提言しました。

■時代に合った利用方法の見直しを

…その他、気になる公共施設は市民センターに備えられているお風呂。市内にある風呂と利用者数について尋ねたところ「奈良橋の老人福祉センター、上北台老人福祉館、南街老人福祉館、向原老人福祉館及び清原老人福祉館の5館に設置している。入浴登録者数は5館合計で228人だ。」との答弁でした。

…入浴サービスの提供日時と必要なコストについては「入浴日は施設により異なるが、それぞれ週2日、時間は午前11時から午後3時までで、2時間ごとに男女入れ替えとなっている。入浴施設に係るコストは、光熱水費が5館合計で年間約380万円、その他には人件費などもかかっている。」とのこと。

…高齢者の事故などの発生場所として風呂場は上位。他市では何かあった場合のことを考え単独での入浴を禁止しているところもありますが、東大和市では“注意を呼び掛けてはいる”ものの、単独での入浴を禁止していません。東大和市のお風呂のある施設の職員は男性。女性がお風呂で倒れた際の対応はどうするのでしょうか。また、他市では入浴料を徴収しているところもありますが、東大和市は無料となっていますが、万全の体制でない施設で事故が起こった場合、無料だから…ではすみません。

…多くの自治体で公共のお風呂を様々な年代が交流する場として位置づけ、年齢によって入浴料を変えることで高齢者の福祉施設としての意味合いを担保しています。市の風呂は災害時に活用できるため、廃止する必要まではありませんが、設置当時のルールのままではなく、時代に合った利用方法、管理方法を見直すことも必要。公共施設全般で見直すべきだと提言しました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102